

大雪山

○ 火山活動評価：静穏な状況

火山活動は静穏な状況です。

○ 概況

・火口や噴気の状況（図1～3）

26日に北海道開発局の協力を得て上空からの観測を実施しました。

旭岳地獄谷爆裂火口では複数の噴気孔から立ち上る弱い噴気が観測され、赤外熱映像装置*による観測では、各噴気孔に対応する高温域が認められました。噴気や地熱域の状況は、前回（2006年10月2日）と比べて特に変化はありませんでした。

御鉢平カルデラでは噴気は認められず、赤外熱映像装置*による観測でも地熱域は認められませんでした。



図1 大雪山 火口周辺図



図2 大雪山 旭岳と御鉢平
(2月26日 西側上空 火口周辺図①から撮影)

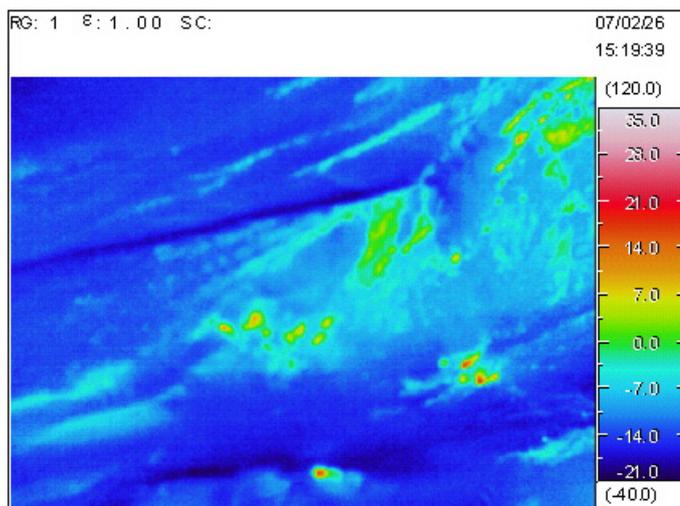


図3 大雪山 赤外熱映像装置*による地獄谷爆裂火口の表面温度分布
(2月26日 南西側上空 火口周辺図②から撮影)

*赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を検知して温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

資料中の地図については、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（地図画像）』を複製しています（承認番号 平17総復、第650号）。